



大石田AIR

新春企画

「舞を生ける」

出演 近藤基弥、大橋武司、久保田舞

2/3 (土) 14時ノ回 16時ノ回

御茶御菓子付き鑑賞料1000円

歴史民俗資料館聴禽書屋内にて

お申込みは虹のプラザ窓口0237-35-2094/歴史民俗資料館0237-35-3440まで。

★開場時間は開演15分前。各回2、30分程度のパフォーマンスを予定しています。

★2/3から始まる雛人形展の入場料金もパフォーマンス鑑賞料に含まれております、是非一緒にお楽しみください。

★会場は非常に寒くなりますので暖かい服装でご来場ください。

大石田AIR新春企画 「舞を生ける」

2/3 (土) 14時ノ回 16時ノ回

御茶 御菓子付き鑑賞料 1000円

歴史民俗資料館聴禽書屋内にて

出演 近藤基弥、大橋武司、久保田舞



近藤基弥 (こんどう もとや)

現在ベルリンと名古屋を拠点に活動。2006年より大野一雄舞踏研究所にて大野慶人に師事。後にバリ島にてアグン・アノム・プトラ、イ・マデ・ジマツト、イダ・バグース・オカ・ヴィルジャナに師事してバリの伝統舞踊を学ぶ。他、インド、ネパールのチベット人居住区、スペインのアンダルシアにて伝統舞踊及び儀礼舞踊のリサーチを行う。2008年より東洋における内観的心身技法を実践研究し、2013年より主にチベットの伝統に従い実践研究。2010年よりMotimaru Dance Companyを主宰し、ヴェネツィアビエンナーレ2010、ヒルデスハイム大学、ケルンメディア芸術大学、ハッセルト大学等、40都市以上にて舞台とワークショップを行う。

～大石田での成果発表にむけて～

美というのは何か遠い宇宙の果てだけにあるのではなく、身近な日常の深淵を見つめる事によって極めて普通なる物事の中に大きな宇宙を発見する事が出来るのではないか、という様な事をよく考えます。また心身やダンスは自分の所有物なのではなく、

様々な時間や場所や人の影響を受け常に移り変わる自然現象の様なものだと思います。

この度は大石田という見知らぬ土地に赴き、現地で初めて出会うであろう景色や人や動物の姿、あるいは匂いや音などとの一つ一つの出会いを楽しみに、そこに新たな美を発見し、そしてその美を自らの心身に映し取りながら、ダンスの制作をしたいと思っています。発表場所も現地に佇む、大石田に流れてきた時間を内包する聴禽書屋にて、その場所に誘発されながら、ダンスというよりもむしろ草花を空間に投げ入れて生けるが如く在りたいと夢想しています。

★各回定員20名のためご予約の上お越しください。

★開場時間は開演15分前となります。各回2、30分程度のパフォーマンスを予定しています。

★2/3から始まる雛人形展の入場料金もパフォーマンス鑑賞料に含まれております、是非一緒にお楽しみください。

★会場は非常に寒くなりますので暖かい服装でご来場ください。